



2015～16 年度
国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラ

Weekly Report Niigata



世界へのプレゼントになろう

2015～16 年度 国際ロータリーのテーマ



2015～16 年度
新潟ロータリークラブ会長
竹石 松次

新潟 RC3 月第 2 例会 (2016.3.8) No.3125

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 竹石 松次 会長挨拶

金子孝信

大正四年（1915）～昭和十七年（1942）

新潟市中央区長嶺町の蒲原神社宮司の金子孝二、クミの四男六女の三男として誕生。

神社の歴史は古く、日本最古の書物、「延喜式」の中に、「越後国蒲原総鎮守」と記されている。毎年、七月一日の「蒲原祭り」では、伝統行事「御神籤」、または、「御託宣」（おたくせん）の神事が伝えられており、神主が金属の円柱から引き出す籤で、その歳の稲の作況を占う行事である。

大正十一年、新潟市尋常万代小学校、村上尋常中学校を卒業、その後、東京の駿台高等予備校に進んでいる。

東京では、姉と同居し予備校に通うことになった。しかし、数学や英語の勉強に身が入らず、丸の内やお茶の水界隈に出かけて、水彩で風景を描く日々を過ごした。

描いた中の一点「丸の内風景」を、実家の壁に貼ったところ、この絵を観た知人から、展覧会に出品するよう勧められた。この作品が、昭和八年の第四回新潟県美術展覧会で入選する。

平成二十五年、神社の蔵から、孝信が残した、日記と絵画が発見され、これまで謎であった青春の一時期の足跡が明らかになった。

それは、戦後七十年を迎えた我が国の昭和初期の様子、戦争と対峙した一人の画学生の生き様が残されていた。

昭和八年、高校受験に失敗した孝信は、予備校に通う一方、絵画への道を一層強める。

父や兄の反対に遭ったものの「神社に奉職すること、西洋画科ではなく、日本画科に進むこと」条件に、東京美術学校への受験を許された。

美術学校入学を果たすため、川端画学校に入学、美術学校を受験するも一度は失敗、二回目の挑戦で、東京美術学校（現・東京芸術大学）日本画科予科に入学、同時に神職としての資格である皇典研究所（現・国学院大学）神職養成部に入り資格の取得も得る。

昭和十年（1935）、念願の東京美術学校への入学を果たした孝信は、東京の銀座界隈の様子を描いた作品を描いている。

「日劇前」「有楽町」「銀座街頭」で、モダンな服装で行き交う女性やビル街を色彩豊かに描いている。新潟から大都会に題材を多く求め、新鮮な感覚で、対象者にほとばしる様な眼差しを注いでいる。

孝信の写実的な画法は、西洋画の手法も採用していることで、街頭ではキャンバスを立ててスケッチするなど新進気鋭な迫力をにじませている。しかも、こうしたスケッチと周辺の雰囲気写真を写真や下絵、その時の情感を絵日記に残し、現在でも確認をすることが出来るという極めて珍しい作家のこだわりを戦後七十年経過した中で確認することが出来ることである。

何故銀座を描いたかについて、

「勿論俺は銀座に興味はあり、銀座の女には憧憬れてゐる。然し俺が銀座を描くのは、無論好きだからには違いないが、銀座と云う所は少なくとも日本国中で一番文化の形態をそのままの流れのままに示して呉れる所なのだ。俺達が二十世紀に生きて、長い歴史の上に自分の名前を表はすに、その世紀の画家と云ふ以上、最もその世紀の画家と云う以上、最もその世紀の持味のある画家でありたいのだ。その準備工作の為の銀座と云うものさ、うむ、勿論趣味はあるぜ。」

と語っている。

戦時色が社会全体を覆い尽くす状況の中で描かれた「にわたづみ」は、少女がまずたまりに落下したモクレンの花を悲しそうに見つめる様子が描かれている。

「新勅撰和歌集」

「にはたづみ 行方しらぬ物思いに

はかなきき泡の消えぬべきかな」

の一首が想い起こされる。

昭和十五年の卒業作品「季節の客」では、三人の洋装女性が室内で話をする様子が描かれた作品で、日本画というより洋画の雰囲気を出し、孝信が特定の絵画手法を打ち破る意図が込められていることを伺わせている。

この年の卒業生は十六名、孝信は優秀な成績で、川端奨学資金賞が授与され、作品も大学に収蔵されている。

卒業の半年後には、現役兵として新発田の部隊に入隊、やがて、中国・上海を経由して江蘇省南京、湖北省宜昌市

付近に向かった。

「戦線より」のスケッチでは、列車内で移動する兵士や狭い兵舎で寛ぐ兵隊の様子が描かれているが、兵士たちの疲弊した姿がそとに残されている。

昭和十七年五月、中国湖北省の戦地で亡くなった。二十七歳の生涯であった。

戦没者画学生の絵を収集する長野・上田市の「戦没画学生慰霊美術館・無言館」に、

「田園風景」「銀座裏戸通り」が展示されている。

平成二十六年六月には、新潟市美術館で、「金子孝信展 1930年代、青春、東京、日本画、戦争」の特別展が開催された。平和を愛する甥、隆弘の信念の回顧展であった。

(3) ゲストの紹介

浪江ロータリークラブ 中西総一郎会長、吉田政輝幹事
吉田俊哉会長エレクト

浪江町視察参加ご夫人

竹石宏子さん 樋熊須美子さん 細野照子さん

徳永成子さん、松本さよ子さん

地区ローターアクト 地区幹事 大倉 瑞稀さん

新潟ローターアクトクラブ会長 吉岡 智哉さん

(4) 中西総一郎浪江RC会長ご挨拶

(5) ロータリーの友紹介（町田広報会報雑誌委員）

(6) 委員会報告

・岡村健吉会員増強委員長

皆様のご協力のお蔭をもちまして、会員数が16年ぶりに100名の大台に達し102名になる予定ですが、転勤の時期ですので後任の方の推薦、引き続きご協力の程、よろしくお願い致します。

(7) 各種ご寄付の発表

米山奨学会寄付発表(小林 敬直委員長)

徳山 啓聖君

青少年育成基金寄付発表(小林 悟委員長)

塚田 正幸君 樋熊 紀雄君

小林 悟君

(8) ニコニコボックス紹介

・浪江RC 中西総一郎君 浪江町視察写真展の開催ありがとうございます。これからも友好関係よろしくお願い申し上げます。

・浪江RC 吉田政輝君 お招きいただきありがとうございます。

・浪江RC 吉田俊哉君 写真展開会式にお招きいただきありがとうございました。

・竹石 松次君 浪江ロータリークラブの中西総一郎会長、吉田政輝幹事、吉田俊哉会長エレクト、特別ゲストの樋熊須美子さん、細野照子さん、徳永成子さん、松本さよ子さん、

竹石宏子さんを歓迎してニコニコします。

・樋熊 紀雄君 浪江RC会長、幹事、会長エレクト様の御来港、ご苦労様です。お互いのクラブの親睦が進みますことを祈念申し上げます。

・海津 博之君 誕生日ワインありがとうございました。渋めのミディアムボディのワインでした。おいしく頂いております。私もワインのようにミディアムボディをキープして、渋めのちょい悪親父を目指したいと思います。ありがとうございました。

・敦井、高木、本間、八島、白勢、斎藤、高橋、海津、森井、竹石、玉、武田、龍田、中山、岡村、木滑、金親 昨日の「柳と華の会」出席しましたのでニコニコします。

・金親 顯男君 3月14日誕生日祝いのワインありがとうございました。何才になってもお祝いはうれしいものです。

・高橋 清文君 本日、卓話にローターアクトクラブの地区幹事 大倉瑞稀さん、並びに新潟RAC吉岡会長をお迎えして大いにニコニコします。

(9) 宇尾野隆さんへ米山功労者第2回マルチプル

感謝状贈呈

(10) 「ローターアクト活動報告」地区大会を終えて

国際ロータリー第2560地区ローターアクト

大倉瑞稀 地区幹事

新潟RAC 吉岡 智哉会長

ご紹介 高橋 清文RA委員長

(11) 3月8日例会の出席率 82.83 %

会員数101名（出席免除会員 9名）

出席者82名（出席免除会員7名を含む）

(2週間前メーク後 83.87 %)

3月22日の例会予定

卓話 NPO 法人トキドキ応援団 団長 計良 武彦氏

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>